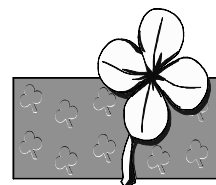


MY FAVORITE SPOTS and EVENTS

このコーナーでは、「あまり知られていない、わたしのおすすめスポットや行事」を会員のみなさんに紹介していただきます。

ガイドスポットの選択のひとつに加えてみてはいかがでしょうか？

今回のご紹介は白濱仁美さん（正会員）からの「おすすめ」です。



在原業平が詠んだ「かきつばた」の名勝地「無量寿寺」 in 知立

私の住む知立市は、江戸時代には、東海道五十三次 39 番目の宿場町として栄えたところです。この「知立」という漢字は、当時は「池鯉鮒」と書きました。池、鯉、鮒の三文字が表すように、当時はきれいな地下水が豊富に湧き出たところだと聞いております。今回は、その知立市の無量寿寺をご紹介しますと思います。

無量寿寺は 704 年（慶雲元年）慶雲寺として創建され、822 年（弘仁 12 年）真言宗の無量寿寺として整備されました。現在は臨済宗妙心寺派です。1812 年（文化 9 年）方巖売茶（ほうがんばいさ）が、杜若庭園（八橋かきつばた園）を整備しました。この寺の所在地である八橋（ヤツハシ）は、平安時代の歌人である在原業平が、「からころも きつつなれにし つましあらば はるばるきぬる たびをしそおもふ」と句頭に「かきつばた」の 5 文字を入れて詠んだように、平安初期の伊勢物語の頃から知られるカキツバタの名勝地です。

この寺では、毎年 4 月下旬から 5 月の下旬にかけて、「史跡八橋かきつばたまつり」が開催されます。庭園の面積約 13,000 m²、16 の池（5,000 m²）に約 3 万本のカキツバタが植えられています。かきつばた園内には、八橋史跡保存館もあり、在原業平やそれにまつわる文化財が保存されています。花札の 5 月の 10 点札である「菖蒲と八橋」（杜若と八橋）は、当地をモデルとしたものとの説もあり、京都の銘菓八ツ橋は、この地「八ツ橋」にちなむともいわれています。また、カキツバタの花は、現在使用されている 5 千円札の裏面に印刷されている、江戸時代の芸術家、尾形光琳によって描かれた国宝「燕子花図」のモデルになったとされ、“愛知県の花”であり“知立市の花”でもあります。

機会がありましたら、ぜひ一度足を運び、平安の当時に思いをはせてみてはいかがでしょうか。

☆見所ポイント：

＊無量寿寺：（所在地）愛知県知多市八橋町寺内 61-1 TEL 0566-81-4028

＊八橋かきつばた園：無量寿寺境内にあり、かきつばたまつり期間中は、「史跡八橋かきつばたを写す会」をはじめ「茶会」「俳句会」「短歌大会」などさまざまなイベントが催される。ただし、今年はコロナ感染拡大の影響で閉園していることがあるので、訪問の際は開園しているか確認してください。

＊庭園ガイド：かきつばたまつり期間中のみ観光ガイドボランティアが常駐（AM9:30～PM2:30）していて、現地で直接申し込めば無料で案内してもらえる。問い合わせは知立市観光協会 TEL 0566-83-1111 まで

☆アクセス：

＊マイカー：伊勢湾岸道「豊田南 IC」より約 10 分

＊電車・バス：名鉄「名古屋」駅から「知立」駅で名鉄三河線に乗換え、名鉄「三河八橋」下車。徒歩 8 分

☆参考 URL： <https://www.city.chiryu.aichi.jp/1450690105548.html> 写真と資料：八橋かきつばた園より

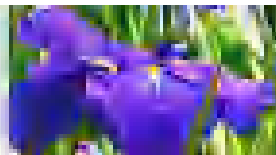
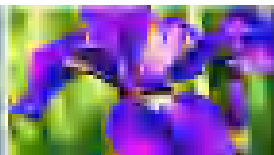
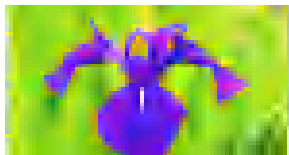
①

②

③

Quiz

カキツバタは
どれでしょう？



答は P6 に